

自転車のまち うつのみやの 推進に向け環境整備を

問

J R宇都宮駅周辺の駐輪場は、通勤、通学の利用者が増加し、慢性的に不足している現状にある。脱炭素社会の推進と、市民の利便性向上のためには、J R駅周辺の駐輪場の整備は喫緊の課題と考える。

また、街中に駐輪場が少ないことから、買い物時の利便性の向上のため、一坪駐輪場を多く設置してはと考えるが、見解を伺う。

さらに、走行しやすい環境として、カラーで色分けされた自転車道だけでなく、街中にも自転車専用道路を整備し、市民意識を高めてはと考えるが、併せて見解を伺う。

答

J R駅周辺の駐輪場は、自転車利用者者の増加により、現在収容台数を上回る利用希望がある状況になっている。また、街中の一



▲J R宇都宮駅西口の市営駐輪場

坪駐輪場の設置は、自転車利用者者の利便性の向上が図れることから、現在策定中の「(仮称)自転車道のまち推進計画」において、J R駅周辺の駐輪場の拡充や中心市街地における使いやすい駐輪スペースの確保などを位置付けていく。

さらに、走行しやすい道路の整備については、現在策定中の計画の中で優先的に自転車走行空間を整備する路線や具体的な走行空間の確保の方策などを明らかにしていく。

企業の撤退防止策と 企業誘致の基本戦略は

問

企業撤退防止と企業誘致について、次の点を伺う。

①国内工場の統廃合や人件費の安い海外への展開が進められている今日、本市においても企業が撤退とならないように、常日頃から企業との情報交換が必要な

のではないかと。また、清原工業団地へのアクセスの実態など、どのように把握し、どう考えているのか、見解を伺う。

②企業誘致について、本市に適した業種として、中心市街地には雇用機会の多いコールセンターの機能を持った情報関連企業などを、郊外部にはネットワークセンターの機能を持った企業を誘致すべきと考えるが、どのような基本戦略で企業誘致を進めているのか伺う。

答

①本市では、経済部に企業誘致担

当スタッフと民間出身の企業誘致推進員を配置し、市内各企業を常に訪問するなど、企業の実態や要望の更なる把握に努めている。

清原工業団地へのアクセスについても、様々な企業からご意見をいただいております。公共交通を含む総合的な交通体系の整備によるアクセス性の向上を検討している。

②議員ご提案のコールセンターやデータセンター等の誘致については、次世代モビリティ産業のひとつとして今後の発展が期待できることから、企業の進出にあたっての条件等について検討し誘致に努めていく。

※次世代モビリティ産業

人々の移動性を高めるための技術を開発する、「航空宇宙」「自動車」「ロボット」「情報通信」の4つの産業分野をくくり、本市が総称したものである。

仮称第2次緑の基本計画の 策定状況は

問

平成12年に「緑の基本計画」を策定し、現在、この計画の改定作業を行っている。

昨年実施した市民アンケートでは、7割以上の市民が都市部の緑が少ないと答えており、現在10%程度しかない都市部の緑被率を、目標年度である平成34年までに、どの程度まで上昇させる必要があるか、数値目標を伺う。

また、自然や緑を地域の力で守り育てようとする市民活動が、活発になっており、緑の基本計画と連動させることは、大変有効な手段と考えるが、見解を伺う。

答

本市では、緑に関する総合的な方針となる、緑の基本計画の全体構想案を、今年5月に取りまとめた。

この中で、中心市街地の公園の樹木や街路樹、学校等の公共施設



▲J R宇都宮駅からの大通りの街並み

での緑の保全・育成や民有地についても、緑化を促進する基準づくりなどを位置づけるなど、様々な取り組みにより、中心市街地の緑被率を10%以上とすることを、平成34年の目標値として設定した。

また、緑に係わる団体相互の情報交換や人材交流の場を設けるなど、緑を守り育てる市民活動の、さらなる活性化の仕組みづくりを位置づけており、今後とも、緑豊かなまちづくりに取り組んでいく。